東京証券取引所 JASDAQ市場

証券コード:6405

2022年3月期 第2四半期決算説明会

2021年11月16日



鈴茂器工株式会社



- 1. 2022年3月期 第2四半期連結決算概要 ···· P.3 ~ P.12
 - ✓ 業績サマリー
 - ✓ 前期比 業績概要
 - ✓ 売上高・営業利益の推移
 - ✓ 国内•海外 売上高比率
 - ✓ 国内•海外 四半期売上高推移
 - ✓ 国内 業態別自社機売上高
 - ✓ 海外 地域別売上高
 - ✓ 連結貸借対照表
- 2. 2022年3月期 下期見通し
- 3. 中期経営計画 進捗状況

 \cdots P.13 \sim P.16

 \cdots P.17 \sim P.24



1. 2022年3月期 第2四半期連結決算概要

2022年3月期第2四半期連結決算: 業績サマリー



(単位:百万円)

	2021年3月期	年間計画	2022年3月期 2Q累計実績			
	2Q累計実績	(2021/5/14)	実績	対前期比	対年間計画 進捗率	
売上高	4,284	10,000	5,201	+21.4%	52.0%	
営業利益	180	930	634	+252.0%	68.3%	
経常利益	178	930	650	+264.6%	69.9%	
当期純利益	117	630	475	+306.3%	75.5%	

2022年3月期 第2四半期連結決算 : 前期比 業績概要

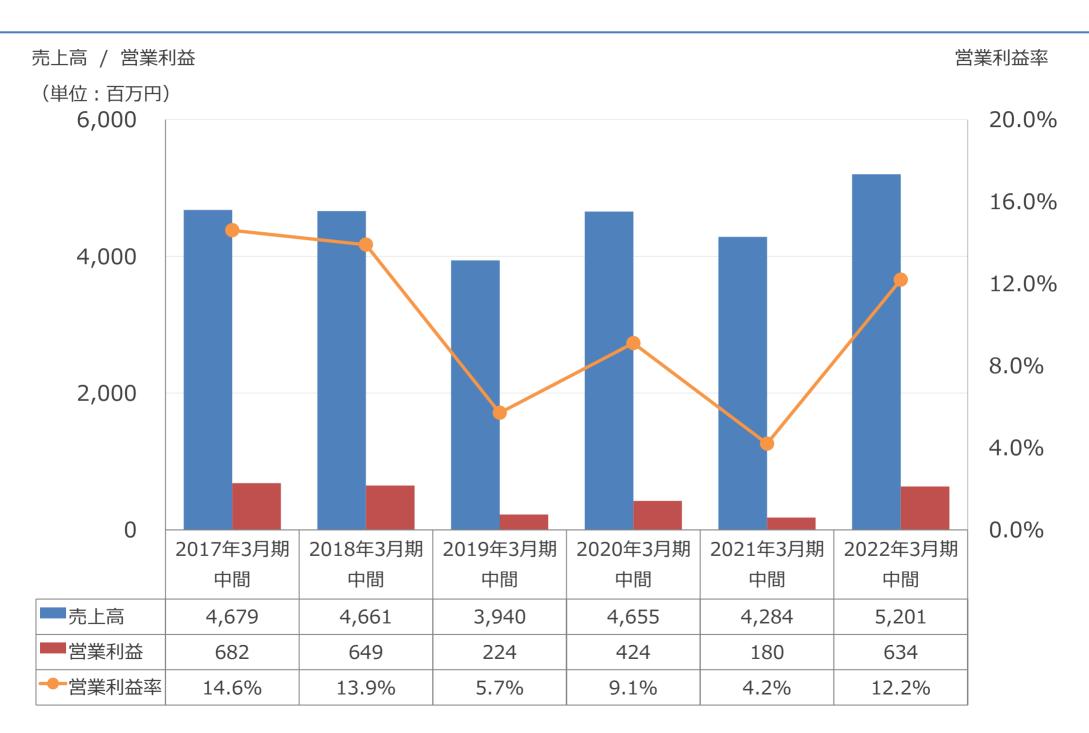


(単位:百万円)

	2021年3月期		2022年3月期 2Q累計		
	2Q累計実績	実績	増減額	前期比	
売上高	4,284	5,201	+917	+21.4%	
売上原価	2,363	2,639	+276	+11.7%	
売上総利益	1,920	2,561	+641	+33.4%	
(利益率	(44.8%)	(49.3%)	(+4.5%)	+33.470	
販売費及び 一般管理費	1,739	1,927	+187	+10.8%	
営業利益	180	634	+454	+252.0%	
(利益率	(4.2%)	(12.2%)	(+8.0%)	+232.0%	
経常利益	178	650	+471	+264.6%	
(利益率	(4.2%)	(12.5%)	(+8.3%)	+204.0%	
当期純利益	117	475	+358	+306.3%	
(利益率	(2.7%)	(9.1%)	(+6.4%)	+300.3%	

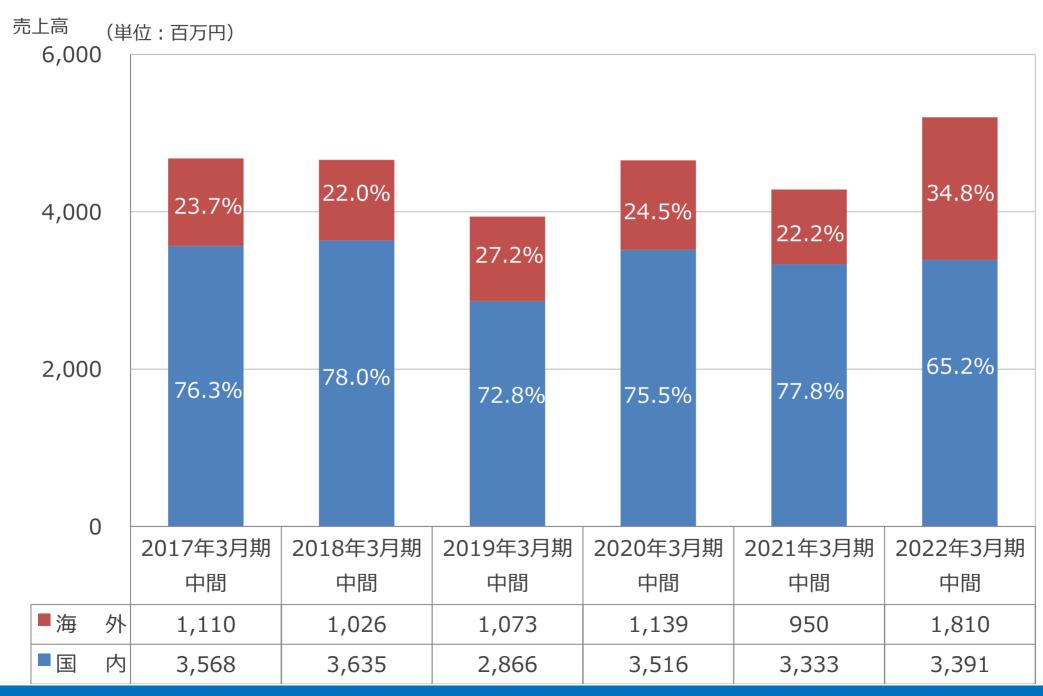
2022年3月期 第2四半期連結決算 : 売上高・営業利益の推移





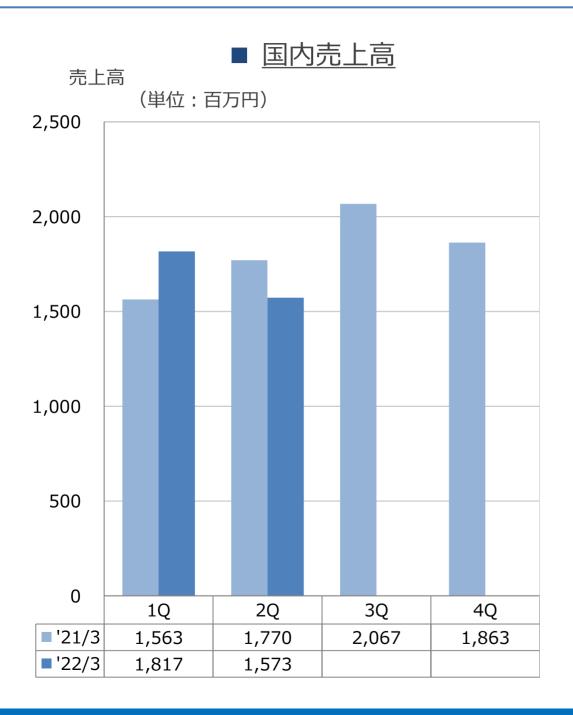
2022年3月期 第2四半期連結決算 : 国内·海外 売上高比率

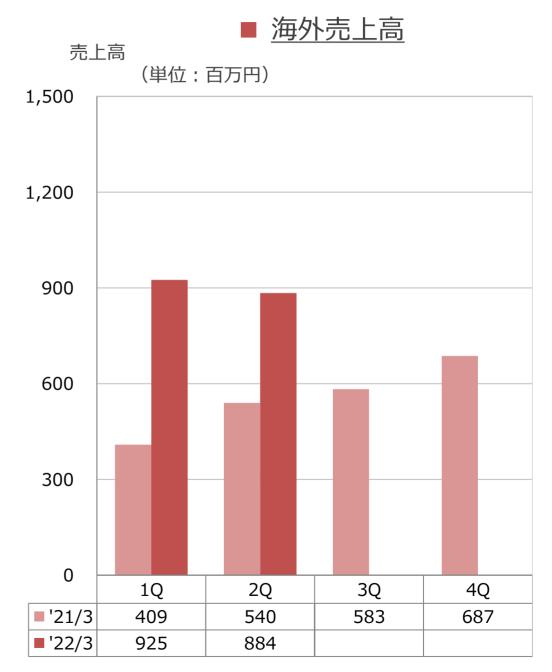




2022年3月期 第2四半期連結決算 : 国内·海外 四半期売上高推移 **SUZUMO**



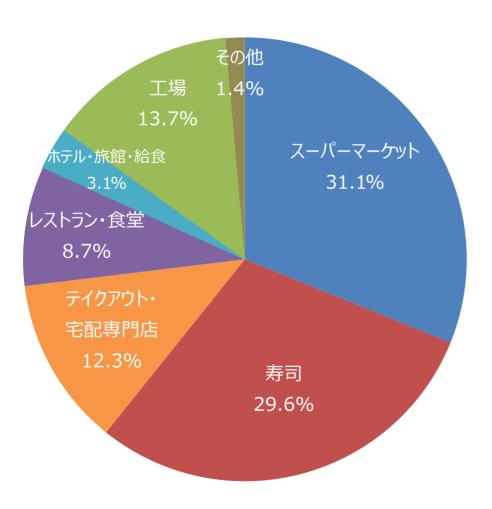




2022年3月期 第2四半期連結決算 : 国内 業態別自社機売上高 **SUZUMO**

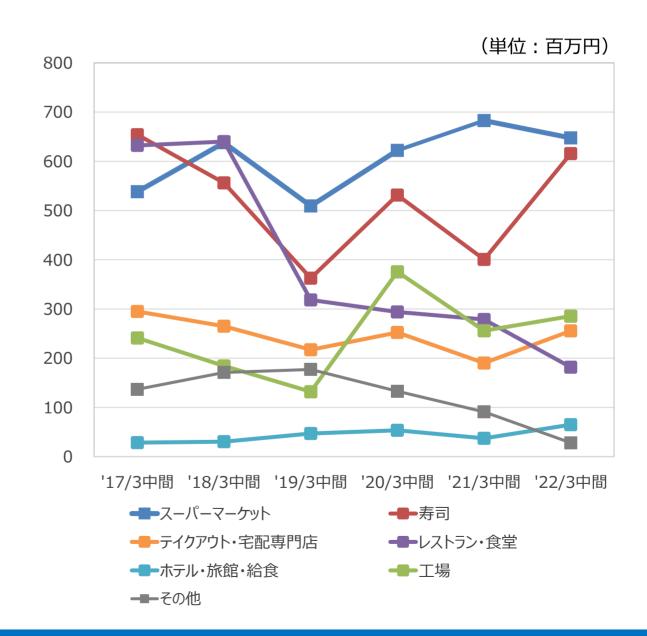


■ 国内 業態別売上高比率 (2022年3月期中間)



※ 業態別売上高比率は国内自社機売上高に基づき算出

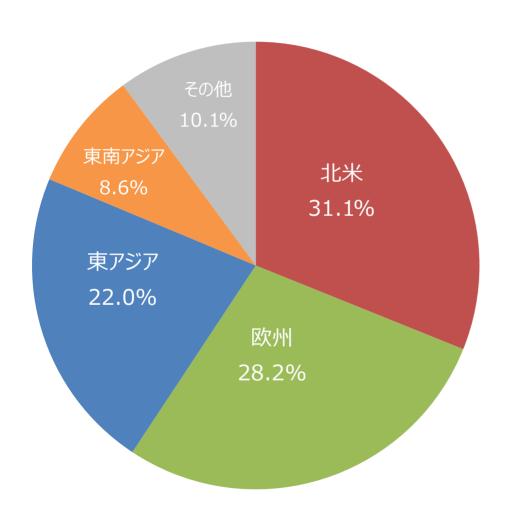
国内 業態別売上高推移



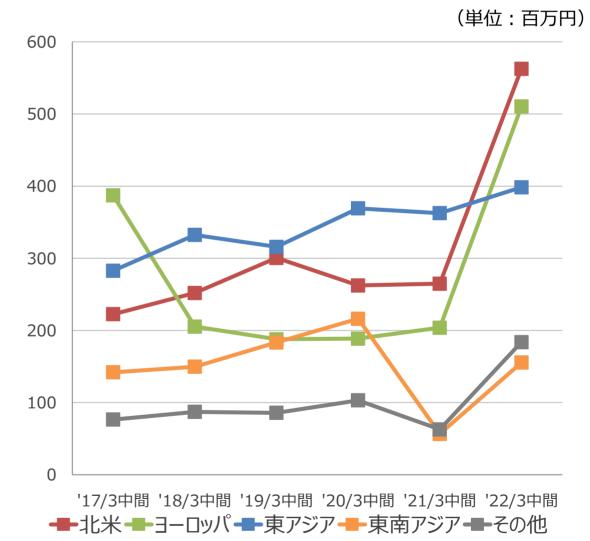
2022年3月期 第2四半期連結決算 : 海外 地域別売上高



■ <u>海外 地域別売上高の割合</u> (2022年3月期中間)



■ 海外 地域別売上高の推移



2022年3月期 第2四半期連結決算 : 連結BS 資産の部



(単位:百万円)

	2021年3月	月期 期末	2022年3月期 中間		お出し	4英2代克西
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	増減額
流動資産合計	10,568	71.9%	11,254	73.4%	+6.5%	+686
現金及び預金	7,342	50.0%	8,013	52.2%	+9.1%	+670
売上債権	1,338	9.1%	1,119	7.3%	-16.4%	-219
たな卸資産	1,801	12.3%	2,003	13.1%	+11.2%	+202
その他	85	0.6%	117	0.8%	+37.6%	+32
固定資産合計	4,125	28.1%	4,088	26.6%	-0.9%	-37
有形固定資産	2,906	19.8%	2,829	18.4%	-2.6%	-76
無形固定資産	205	1.4%	220	1.4%	+7.6%	+15
投資その他の資産	1,014	6.9%	1,038	6.8%	+2.4%	+24
資産合計	14,694	100.0%	15,343	100.0%	+4.4%	+648



(単位:百万円)

	2021年3月	月期 期末	2022年3月期 中間		소수 보다 니고	1002-11-安石
	実績	構成比	実績	構成比	前期比増減額	
負債合計	2,496	17.0%	2,691	17.5%	+7.8%	+195
流動負債	1,382	9.4%	1,550	10.1%	+12.2%	+167
固定負債	1,114	7.6%	1,141	7.4%	+2.5%	+27
純資産合計	12,198	83.0%	12,651	82.5%	+3.7%	+453
株主資本	12,246	83.3%	12,610	82.2%	+3.0%	+364
その他包括利益累計額	-62		24	0.2%	_	+86
非支配株主持分	14	0.1%	16	0.1%	+14.3%	+2
負債純資産合計	14,694	100.0%	15,343	100.0%	+4.4%	+648



2. 2022年3月期 下期見通し



事業環境の変化

見通し

事業機会

- ▶ ライフスタイルの変化
- > 経済活動の再開
- ▶ サスティナビリティへの関心
- ▶ 食のDX「FoodTech」の 推進

- > 省人化・機械化の需要増
- ▶ セルフ化需要の増加
- ▶ 店舗の無人化ソリューション
- ▶ 海外マーケットの拡大

一時的な事業リスク

- ▶ 原材料価格の高騰
- > 半導体や部材の供給不足

- > 今期中は継続
- ▶ 製品設計を変更して代替部品を検討
- ▶ 価格高騰による今期業績への影響は 軽微



国内市場

主要業態	需要見通し	事業環境の変化	事業機会
スーパーマーケット		▶ ライフスタイルの変化 事業者や最終消費者の意識や価値観	▶ 省人化・機械化の需要増 外食・小売業における人手不足、社会の 変化なるなりは表別にある。
寿司		の変化 ▶ 経済活動の再開	変化に合わせた設備投資の検討が進行し、更なる省人化・機械化による製品需要の増加
テイクアウト・ 宅配専門店		GoToEat/GoToTravel再開による更なる人手不足助成金や補助金による事業者支援によ	▶ セルフ化需要の増加 事業者や最終消費者の衛生意識やフー
レストラン 食堂		る投資意欲促進	ドロスへの関心が高まり、ホテル・学食・社食・レストランでのFuwaricaによるセルフ
ホテル・旅館・ 給食		▶ サスティナビリティへの関心 フードロスへの関心の高まり	化需要が増加 ▶ 店舗の無人化ソリューション
工場		➤ 食のDX「FoodTech」の推進	キャッシュレス・セルフオーダーシステム、配 膳ロボット需要の増加



海外市場

主要地域	需要見通し	事業環境の変化	事業機会
北米		▶ ライフスタイルの変化 事業者や最終消費者の意識や価値観 の変化	▶ 省人化・機械化の需要増 現地寿司事業者の省人化、スーパーマー ケット・キオスク業態における店内調理の 機械化需要が増加
区欠州		▶ 経済活動の再開 ロックダウン等による活動制限が緩和され、 国内以上に人手不足が深刻化 助成金や補助金による事業者支援によ	▶ 新規事業者の参入 テイクアウトやデリバリーのメニューに寿司を 新たに追加する事業者が増え、寿司口
東アジア		る投資意欲促進	ボットの導入需要が増加
東南アジア	-	需要が需要を呼び 更なる寿司ロボットマーケットの拡大が期待される	

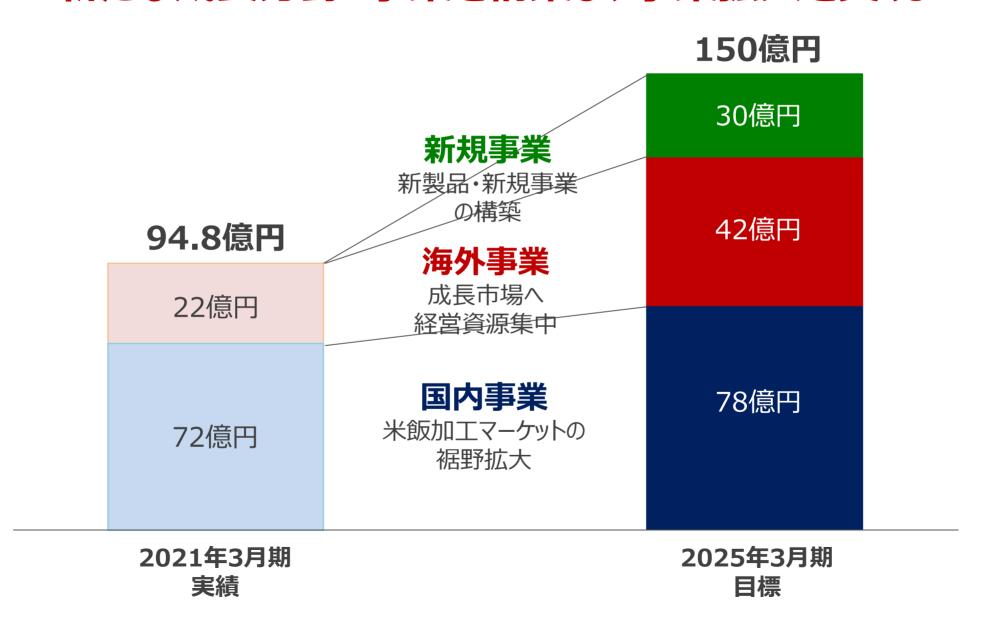


3. 中期経営計画 進捗状況

中期経営計画: 業績進捗状況



新たな成長分野・事業を構築し、事業拡大を実現



中期経営計画: 業績進捗状況



2019年11月発表 中期経営計画「Growth2025」資料

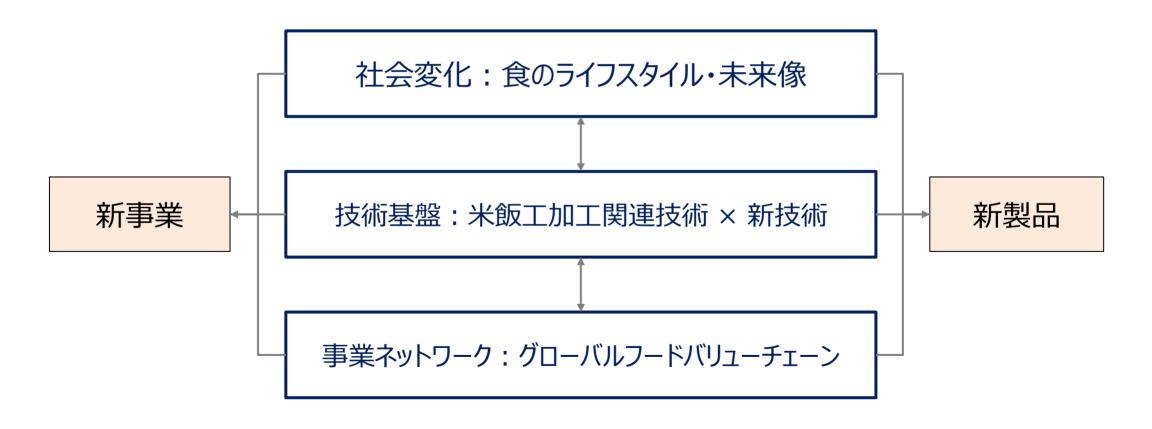
「既存マーケットの拡大」と「新規マーケットの創出」

寿司マーケットに続く、盛付けマーケットの創造 国内事業 海外事業 主要3市場の深耕および第4の市場創造 新規事業 これまでの枠を超えた新製品・新規事業の構築 最終消費者へのブランド構築 開発力の強化 M&A / 提携の推進

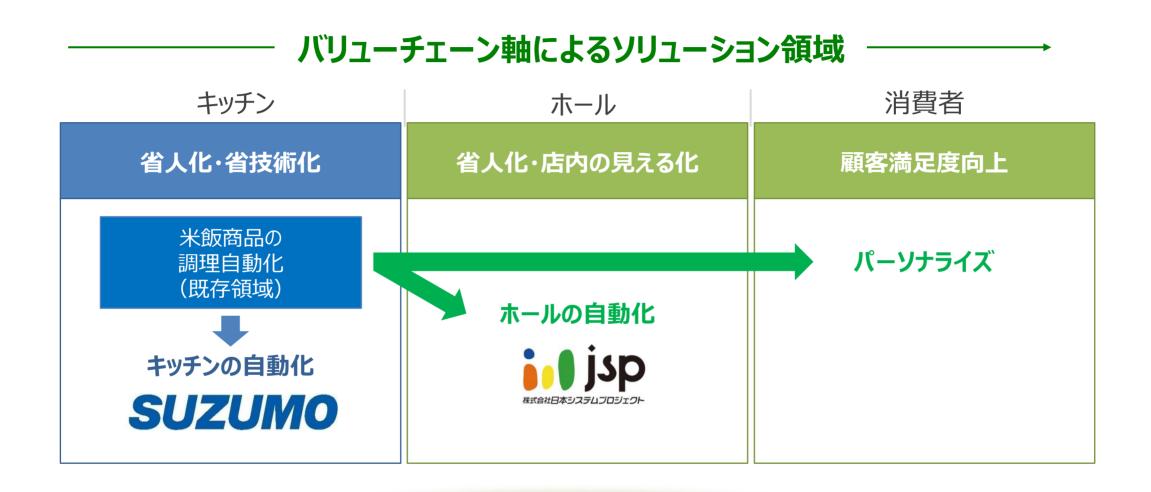


2019年11月発表 中期経営計画「Growth2025」資料

自前主義から脱却し、M&Aや提携を活用した 外部との共創により、新規事業を創出する。







M&A・外部との経営資源連携を実施し、 「トータルソリューションのプラットフォーム」を創造



新規事業戦略の柱となるM&Aを実施

2021年10月 株式会社日本システムプロジェクトを子会社化



▶ 目 的:厨房の域を超え、客席フロアを含めた

「飲食店向けトータルソリューション」の提案体制を強化

> 主要顧客:外食事業者

▶ 事業内容:セルフオーダーシステム、外食店向POS、

キャッシュレス券売機、配膳ロボットの販売

製

品



セルフオーダーシステム

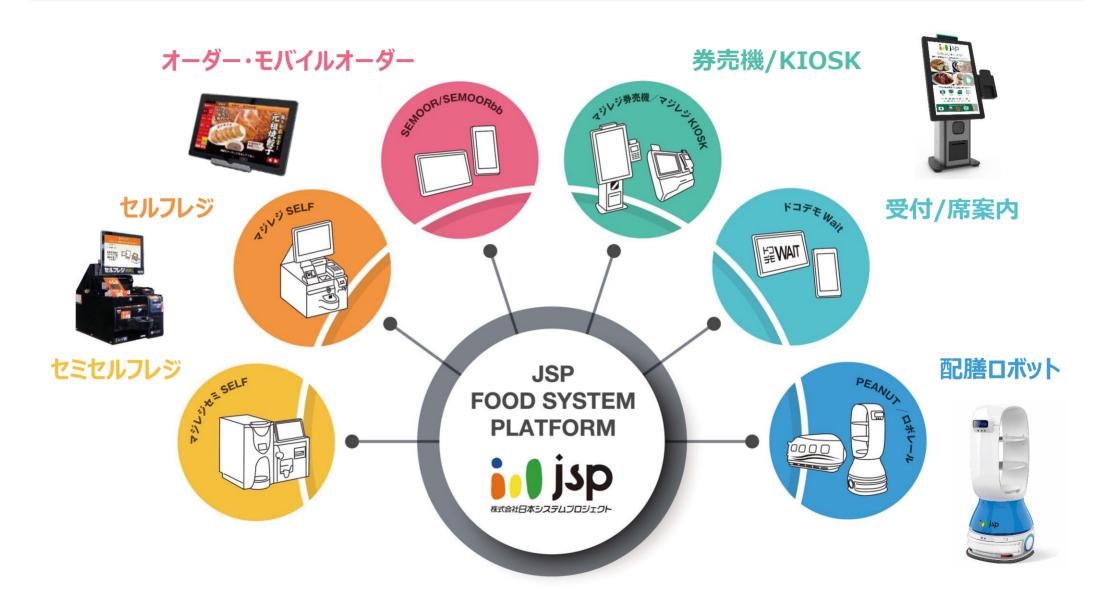


キャッシュレス券売機





日本システムプロジェクトの事業ポートフォリオ







AI搭載 配膳ロボット















導入事例:肉のよいち 日進梅森店様



セルフオーダー 「SEMOOR」連動



配膳ロボット



配膳ロボット 「PEANUT」

ロボレール:料理を載せて、レール上を自走するロボット

AIで最短コースを割り出し、ぶつからないように 車間距離を取る安全運転で、高い搬送効率を実現します。

キッチンからテーブルまでをロボット配膳でセルフ化



IR・取材等のお問い合わせ先

鈴茂器工株式会社 経営企画部

TEL 03-3993-1396

Email: ir-info@suzumo.co.jp

本資料の業績計画ならびに将来予測は現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。

そのため諸要因の変化により実際の業績は大きく異なる可能性があります。